

キャンプファイヤー（進行例）

1 役割分担（例）

営火長（1名）、火の使い（4名）、司会者（1名）、放送係（1名）

※その他、交歓のつどい担当などを決めておく

2 進行案

展開	内容	備考
1、準備	<p>○明るいうちに会場の準備をする（ネイパル職員と打合せも）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倉庫から用具を移動・設置する <p>○キャンプファイヤーサークルの周辺に円形で集合する</p> <p>営火長、火の使いなどは、所定の位置につく</p>	<p>○風向きや強さによって、サークルからの距離をあげるようにする</p>
2、点火の儀式	<p>○開会にあたって</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「雄大な自然に囲まれた、ここネイパル北見にも静かな夜が訪れました。ただいまから、キャンプファイヤーを行います」</p> <p>「開会にあたって、みんなで『燃えろよ燃えろ』を歌いましょう」</p> </div> <p>○全員で『遠き山に日は落ちて』を斉唱</p> <p>○歌が終わったら、火の使いは、地面に置かれたトーチの位置に出て待機する</p> <p>○営火長のことば</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「人類は火とともに歴史を作ってきました。火は人々に安らぎを与え、希望を抱かせ、勇気を奮立たせてきました。火が人類にとって最も神聖なものとして崇拝されてきたのはこのためです。皆さんの友情と団結を深めるために、これより聖なる火をともします」</p> </div> <p>○司会から点火の合図</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「それでは、営火長と火の使いは、キャンプファイヤーに点火してください」</p> </div> <p>○引率者がトーチの先に着火用具で着火する</p> <p>○営火長と火の使いは、井桁の中にトーチを入れ、点火する</p> <p>○点火したら、トーチの火をサークル内の土で消す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すぐ消えない場合は、バケツで水をかけ消火する <p>○全員で『燃えろよ燃えろ』を斉唱</p> <p>○営火長と火の使いは、自分の席に戻る</p>	<p>○音響操作</p> <p>○トーチの先端を高くしない（灯油が手元に流れ、引火することを防ぐため）</p>

3、交歓のつどい	<p>○フォークダンス、歌声、出し物の発表などを行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出し物の発表は、あまり長くなると間延びする 	
4、閉会の儀式	<p>○交歓のつどいが始まる前と同じように円になり、静かになってから、営火長からのことば</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「燃え残る火を見つめてください。このファイヤーの薪もかつては青々と枝葉を茂らせた1本の木だったのです。今、私たちのために燃えさかり、やがて灰となり、自然に帰ろうとしています」</p> <p>「この火は、私たちを神秘的な遠い原始の世界に誘い込んでくれたようです。そしてまた、火の美しさ、厳しさ、たくましさ、優しさなど、多くのことを教えてくれたような気がします」</p> <p>「（営火長からのメッセージ）」</p> <p>「最後に、『今日の日はさようなら』を全員で歌いましょう」</p> </div> <p>○全員で『今日の日はさようなら』を斉唱</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「今宵は、お互いに協力しあって、素晴らしいつどいを開くことができました。これでキャンプファイヤーを終わります」</p> </div>	○音響操作
5、片付け	<p>○キャンプファイヤーの完全消火</p> <p>○用具の片付け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホースやポリバケツなどは職員玄関前へ移動する 	<p>○引き続き、連絡会をしても良い</p> <p>○薪にホースで水をかける</p>
6、薪捨て（翌朝）	<p>○消火を再度確認し、残木を薪捨て場に捨てる</p> <p>○ポリバケツなどを職員玄関前から倉庫へ戻す</p>	

3 会場図

